

本日の為替見通し

ポイント

多くの方がすでにご覧になったと思われるが、昨日の朝日新聞の一面にあった記事で、三菱東京 UFJ が日本国債の価格急落に備えた「危機管理計画」を作成、数年後に金利が数パーセントに急騰し、損失を防ぐために数兆円の国債を売ることになるという、急落シナリオを想定し始めたこと。日本政府の借金は約1千兆円あり、投資家からの借入れは約750兆円で、国債の9割超は国内が保有、その4割は銀行が持っているとのこと。ただし、これを当局が圧力をかけて書かせたとのウワサも市場では流れていた……その真意の程は如何に。

1月30日のEU首脳会議前に期待された、ギリシャ債務交換協議は、首脳会議でも決着できず、「合意近い」との報道にEURは買われ、「合意は難航」との報道に売られる日々が続く、それを材料に相場を動かしているディーラーや市場参加者は多いが、いい加減はつきり決着してほしいというのが本音ではないだろうか！？

今日は金曜日。ギリシャ債務交換協議は、ひょっとしたらNY市場が終わった後に合意が発表とか、いや、土曜日から日曜日に発表されるのではとの不安感が残り、これをテーマとした週末リスクが残り、いつもながら週越えポジションには気をつけなければならない。

ギリシャ債務交換協議に、民間債権者の代表としてダラーラ IIF 専務理事と共に交渉に当たっている、アッカーマン・ドイツ銀行 CEO は、合意は週週間以内、おそらく数日以内と言いい、民間部門はほぼ合意に達し、現在の問題は公共部門で条件はいまだに確定していないとのこと。

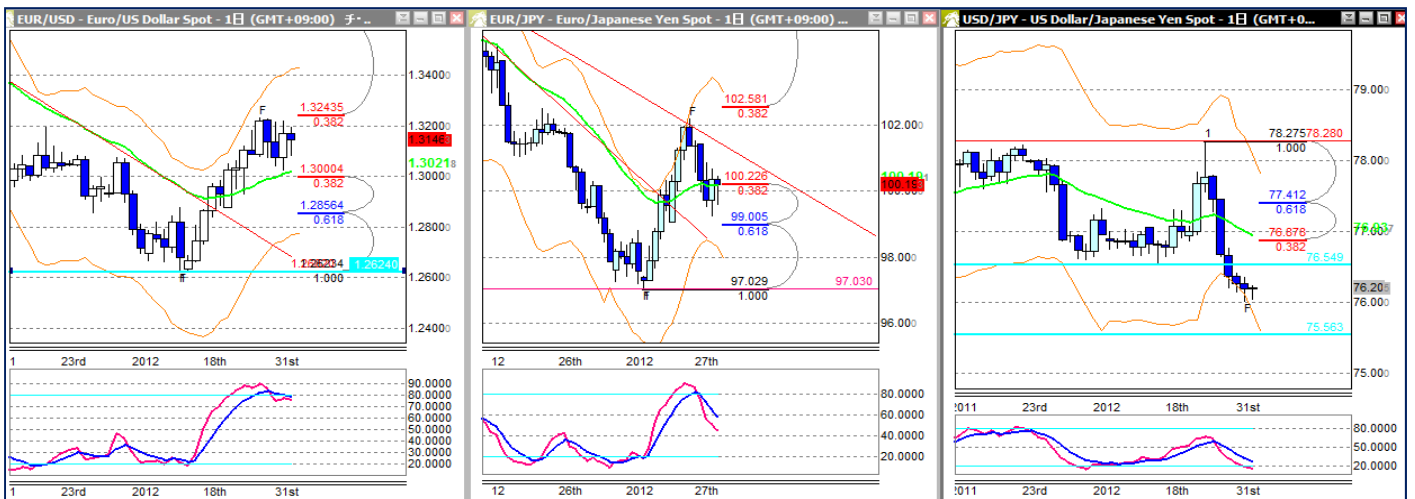
公共部門とは ECB と思われるが、ECB はギリシャ債券を360~550億ユーロ購入していると推測されており、ECB は投資家や各国政府がギリシャ支援策に合意するまで、支援しない方針とも言われている……どうなるのであろうか！

今夜は、米雇用統計の発表を控えている。先に発表された米 ADP 雇用統計は予想を下回り、昨日の米新規失業保険申請件数は予想より減少し、強弱の材料が入り乱れ、今夜の失業率と非農業部門雇用者数の予想を難しくさせている。市場予想では失業率8.5%、非農業部門雇用者数は14万人となっている。

市場参加者の多くの意見では、将来的に大幅な円安を予測しながらも、目先はどこまで円高が進むのか、USDJPYの戻りが少ない相場展開の中で、底値をどこに設定したらいいのか迷っている。

USDCAD はパリティの1.00を日中ベース、終値ベースでも割り込み、CADの上昇が進み、NZDUSD、AUDUSD、GBPUSDも順調。

マーケット・レベル



EURUSD(日足) = 25 日指数移動平均線は 1.3022、この線を下限に上昇を続けている。DOPup=1.3425、DOPdn=1.2769。スロー・ストキャスティックは%K=75.37、%D=78.25で、売りを継続している、ベースは買われ過ぎゾーンにとどまる。

EURJPY(日足) = 25 日指数移行平均線は 100.19、終値ベースでこの線近くで終了。DOPup=103.30、DOPdn=98.29。スロー・ストキャスティックは%K=44.04、%D=57.61、売りを継続し、ベースはニュートラルゾーンに位置している。

USDJPY(日足) = 25 日指数移動平均線は 76.94、この線を割り込み続落しているが、かい離幅が拡大。DOPup=78.09、DOPdn=75.87。スロー・ストキャスティックは%K=13.99、%D=25.32で、売りを継続、ベースは売られ過ぎゾーンに入っている。

## 本日の CFD 見通し

## ポイント

米在庫統計のショックと需要の減少に原油相場はテクニカルポイントをブレイクし、売りの流れを加速させている。FOMC は超低金利政策を延期し、英国は資産買入枠を拡大する可能性は高く、オーストラリアは政策金利を引き下げる可能性も高く、引き続き買いの材料も残る。ギリシャ債務削減交渉が決着されず、この面ではリスクが残り、週末でポジション調整の売りも入りやすくなっているが、債券相が再び崩れるまではリスクオフの流れも限定的と思われる。

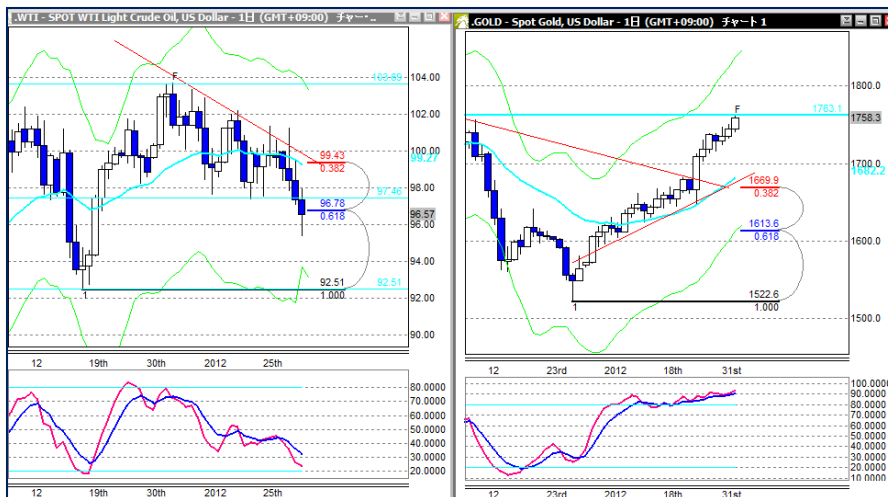
## ◎Spot.WTI(Light Crude Oil)

EMA は 99.27 でこの水準を割り込み続落し、目先のポイントをブレイクし売りの流れが加速している。ただ、金価格を含めリスクアセット全体では引き続き堅調に推移しており、売りの圧力を弱める可能性もある。上値のポイントは 99.27~43、103.69。下値のポイントは 93.68、92.51。

## ◎Spot.Gold

EMA は 1682.22 でこれを底値に上昇トレンドが続いている。12月8日の高値を超え、12月2日の高値 1763 を超えてくると 1800 が視野に入ってくる。上値のポイントは 1763.1、1836.93。下値のポイントは 1669.9、1613.6。

## マーケット・レベル



Spot.WTI (Light Crude Oil) (.WTI 日足) = 25 日指数移動平均線は 99.27、この線を終値ベースでは下回る展開が続いている。DOPup=103.90、DOPdn=93.68。スロー・ストキャスティックは%K=23.88、%D=31.95 で、売りの流れを継続し、ベースや売られ過ぎゾーンに入っている。

Spot.Gold (.GOLD 日足) = 25 日指数移行平均線は、1682.22、この線を下限に上昇している。DOPup=1836.93、DOPdn=1612.42。スロー・ストキャスティックは%K=93.38、%D=90.82 で、上昇トレンドの継続にはっきりとせず。ベースは買われ過ぎゾーンで引き続き推移。

## 2月3日(金曜日) 注目の経済指標 その他

## 発言・その他

9:15 フィッシャー・ダラス連銀総裁 講演(経済・金融政策について)

18:00 コスタ・ポルトガル中銀総裁 会見

メルケル独首相 中国訪問(4日まで)

## 注目の経済指標

10:00 中国 1月 非製造業 PMI=予想 前回 56、サービス業 PMI=予想 前回 52.5

11:30 中国 1月 サービス業 PMI=予想 前回 52.5

19:00 EUR 12月 小売売上高=前月比予想 0.3% 前回-0.8%、前年比 予想-1.3% 前回-2.5%

21:00 CAD 1月 失業率=予想 7.5% 前回 7.5%、雇用ネット変化率=予想 22000人 前回 17500人

22:30 USD 1月 失業率=予想 8.5% 前回 8.5%、非農業部門雇用者数=予想 14万件 前回 20万件

0:00 USD 1月 ISM 非製造業景況指数=予想 53.2 前回 52.6、

2月3日(金曜) 本日の主な経済指標と発表予定

7:30	AUD 1月 AIG サービス業指数
10:00	CHN 1月 非製造業 PMI=予想 前回 56、サービス業 PMI=予想 前回 52.5
11:30	CHN 1月 サービス業 PMI=予想 前回 52.5
17:55	GER 1月 サービス業 PMI・確報=予想 54.5 前回 54.5
18:00	EUR 1月 総合 PMI・確報=予想 50.4 前回 50.4、サービス業 PMI・確報=予想 50.5 前回 50.5
18:30	GBP 1月 サービス業 PMI・確報=予想 53.3 前回 54.0
19:00	EUR 12月 小売売上高=前月比予想 0.3% 前回-0.8%、前年比 予想-1.3% 前回-2.5%
21:00	CAD 1月 失業率=予想 7.5% 前回 7.5%、雇用ネット変化率=予想 22000人 前回 17500人、労働参加率=予想 66.6 前回 66.6
22:30	USD 1月 失業率=予想 8.5% 前回 8.5%、非農業部門雇用者数=予想 14万件 前回 20万件、民間部門雇用者数 16.8万人 =予想 18.1万人 前回 21.2万人、時価当り平均賃金=予想 0.2% 前回 0.2%、週間平均労働時間=予想 34.4 前回 34.4
0:00	USD 1月 ISM 非製造業景況指数=予想 53.2 前回 52.6、
0:00	USD 12月 製造業受注数=予想 1.5 前回 1.8%

昨日(2月2日)の海外市場の動き

欧州市場は、金曜日の米雇用統計を控え、ギリシャ債務交換協議の合意を待ち、重要な経済指標もなく、不確定要因を避ける動きが続いた。温家宝中国首相の発言で EURUSD は上下し、ギリシャ債務交換協議の発言で上下し、バーナンキ FRB 議長の議会証言の反応も鈍く、一日を終えてみれば前日とあまり変わらない水準。

◎オーストラリアの経済指標は強弱ミックス、豪住宅販売許可件数は、鉱山以外の産業が不振で予想を大幅に下回り、過去4ヶ月で3度前月比はマイナス。豪貿易収支は輸出が好調で予想を大幅に上回る→一時 AUD 買いが強まる

◎スペイン・フランス国債入札は平均利回りが低下し、発行は目標上限を上回る→ EURUSD の売りは弱まるが上昇は鈍い

◎温家宝中国首相は、中国は EFSF と ESM の関与の拡大を検討と発言→ EURUSD 1.3135→1.3190 台まで急伸

◎温家宝中国首相は、欧米は自助努力が必要で、債務を削減し構造改革を実施すべき→直ぐ 1.3130 台へ下落

◎ユンケル・ユーログループ議長は、ギリシャの債務交換協議は非常に困難と発言→ EURUSD は 1.31 割れのストップを付け 1.3080 台まで下落

◎新規失業保険申請件数は、前回・市場予想を下回る→ドル売りの流れへ

◎米現物株が上昇→ EURUSD は上昇、リスクアセットの買い戻しも見られる

◎バーナンキ FRB 議長、下院予算委員会で証言→相場への影響は限定的

アッカーマン・ドイツ銀行 CEO、レーン欧州委員→ギリシャ債務交換協議は今週末に合意する可能性を示唆

欧州市場は、金曜日の米雇用統計を控え、ギリシャ債務交換協議の合意を待ち、重要な経済指標もなく、不確定要因を避ける動きが続いた。温家宝中国首相の発言で EURUSD は上下し、ギリシャ債務交換協議の発言で上下し、バーナンキ FRB 議長の議会証言の反応も鈍く、一日を終えてみれば前日とあまり変わらない水準。

USDJPY アジア市場は、朝方の 76.20 台を高値に伸値過ぎには 76.10 近くまで下落、大枠 76.12~16 の狭いレンジで取引が続いた。欧州市場では、76.10~15 のレンジから 76.06 近くまで下落。米国市場も一時 76.05 近くまで下落したが、76.00 割れとトライ失敗、結局は大枠 76.05~18 の極狭いレンジから、終盤にかけて 76.20 円台まで上昇した。

EURUSD アジア市場は、1.3160 近辺を安値に 1.3195 近くまで上昇、大枠 1.3160~90 のレンジで取引が続いた。欧州市場は、株高でオープンしたが、期待感が強まっているギリシャの債務交換協議の合意もなく、リスクオフの流れへ変化し、1.3120 台まで下落、ドイツ・フランスの国債入札は利回りが低下し、EURUSD は 1.3120 を底値に下げ止まり、大枠 1.3120~55 のレンジで取引が続いた。温家宝中国首相の EFSF と ESM の関与の拡大を検討と発言に 1.3190 近くまで急伸、温家宝中国首相の欧米は自助努力が必要との発言に 1.3130 台へ下落、結局は元の水準へ逆戻り。ユンケル・ユーログループ議長は、ギリシャの債務交換協議は非常に困難と発言を材料に、1.3100 割れのストップを付け 1.3080 台まで下落した。米国市場では、米新規失業保険申請件数で申請者が減少、米現物株が強くと 1.3140 台を回復、欧州株もプラス圏へと値を戻し、ロンドンフィクシングでは再び 1.3180 台を回復したが、買いも続かず 1.3140 台へ値を下げている。

AUDUSD アジア市場では、開始直後の 1.0702 の安値から豪経済指標発表直後に 1.0756 まで上昇から→1.0700 まで再び値を下げ、大枠 1.0700~40 のレンジで取引が続いた。欧州市場は、欧州株価高値スタートに、一時 1.0740 超えを試す動きが見られたが、期待感が強まっているギリシャの債務交換協議の合意もなく 1.0690 台まで下落、ドイツ・フランスの国債入札は利回りが低下したことで下げ止まり、EURUSD 追従で 1.0733 まで上昇→1.07 割れへ下落→1.0680 割れまで値を下げた。米国市場に入り、株価や米経済指標に反応し、ロンドンフィクシングに向け 1.0740 台へ上昇、再び 1.07 を割り込み、結局大枠で 1.0690~1.0745 のレンジから、1.0710 を中心に狭い値動きとなった。

## 金・原油価格

原油価格は、前日の在庫統計の大幅増加の影響が今日も続き、米東部の温暖な気候に需要が減少するとの思惑も売り材料とされ、原油価格は続落、イラン原油禁輸措置の実施にも中国は引き続き相当量をイランより購入するとの思惑もあり、テクニカルポイントをブレイクして値を下げている。一方、金価格は、米超低金利が続く中で実需の買いが続き、12月8日の高値を超え、12月2日の高値で上げ止まった。テクニカルでも非常に強い上昇トレンドが続いている。

## ◎Spot.WTI(Light Crude Oil)

.WTI アジア市場は、開始直後の 97.09 から、前日に急落した調整の買いに徐々に底値を切り上げ 97.70 近くまで続伸した。欧州市場は、在庫統計の大幅増加が再び意識され、序盤の 97.95 を高値に前日の安値を割り込み、96.40 台まで値を下げた。米国市場は、株価の上昇や米新規失業保険申請件数の申請者が減少、一時 97.30 近くまで値を戻したが続き、逆に 96.40 を割り込み 95.42 まで続落、12月20日の水準まで値を下げ、終盤かけて 96.40 台まで値を戻している。

## ◎Spot.Gold

アジア市場は、開始直後の 1743.0 の安値から 1751 台まで上昇、開始の水準近くの 1743.6 まで値を戻した。欧州市場は、1744 台を底値に 1753 近くまで上昇したが、ドル高の動きに一時 1740 台まで値を下げた。米国市場では株価上昇や米新規失業保険申請件数の申請者が減少し 1750 台を回復、1760 台まで急上昇したが、欧州勢の売りに、1750 台を回復し 1760 台まで上昇した。

## 昨日(2月2日)の主な発言・出来事

欧州関連
<b>メルケル独首相</b> ＝◎欧州危機はユーロではなく国債に関して ◎イラン核問題の話し合いはほとんど進展しない
<b>バルギー中銀</b> ＝◎バルギー第4四半期GDPは前期比-0.2%→過去3年で2度目のリセッション入り、前年同期比で0.9%、2011年通年で1.9%
<b>ロイターの調査</b> ＝◎短期金融市場の緊張が続くようであれば、ECBは2月下旬予定の3年物オペで3,250億ユーロを供給すると見られている。
<b>スペイン国債入札</b> ＝◎45.6億ユーロ発行、目標上限45億ユーロ、2015年償還25.22億ユーロ、2016年償還9.84億ユーロ、2017年償還10.54億ユーロは、平均落札利回り3.565%(前回5.544%)応札倍率2.7倍(前回2.7倍)
<b>フランス国債入札</b> ＝◎10年債56.98億ユーロ発行、平均落札利回り3.13%(1月5日3.29%) ◎6年、8年、10年債、合計79.2億ユーロ発行
<b>温家宝中国首相</b> ＝◎中国はEFSFとESMの関与の拡大を検討 ◎EFSFとESMの参加方法を検討している ◎欧米は自助努力が必要で、債務を削減し構造改革を実施すべき

ギリシャ関連
<b>ユンケル・ユーログループ議長</b> ＝◎1月30日のEU首脳会議で合意した措置はまだ大幅に不十分 ◎ギリシャの債務交換協議は非常に困難 ◎各国首脳はこれからの数カ月間でユーロ圏の財政規律の強化にむけ、一段の政策を講じて、債務危機収束に努力する必要がある ◎ギリシャ政府と民間債権者の代表者である国債金融協会(IIF)は、債務負担を約1000億ユーロ削減することをめざし、約7日カ月間協議を続けた ◎数日以内に合意し、6日のユーロ圏財務相会議で承認される可能性がある
<b>ベニゼロス・ギリシャ財務相</b> ＝◎ギリシャの債務交換協議で、民間債権者との合意を得る前に、公的部門の関与を具体化させる必要がある ◎未解決の問題は、公的部門の関与で、条件はいまだに確定していない ◎交渉合意後の、ギリシャ銀行への資本増強で、ギリシャ政府と欧州連合(EU)、IMFとの協議が難航している
<b>クラウス・ドイツ銀行 CFO</b> ＝◎ギリシャ債の評価額を額面の29%に引き下げた
<b>アッカーマン・ドイツ銀行 CEO</b> ＝◎ギリシャの債務交換協議を今週末にアテネで行う可能性 ◎民間部門の損失は純現在価値では70%強となり、金融機関以外の当事者がそれぞれの役割を果たすことが議論の焦点 ◎合意は数週間以内、おそらくは数日以内にできるだろう ◎ギリシャが倒れれば、ポルトガルが次の感染先となりかねない ◎ギリシャ債務減免を交渉している当事者間の意見は大きな隔たりはない
<b>レーン欧州委員</b> ＝◎ギリシャ債務交換協議は今週末までに合意へ ◎EUは穏やかなリセッションを経過中

バーナンキFRB議長(下院予算委員会で証言)
◎欧州の金融危機は引き続き米景気の回復の脅威で、FRBは米経済への打撃を防ぐためあらゆる手段を講じる ◎我々は景気後退からの回復に楽観的過ぎた ◎米経済は改善の兆しが見られるが、ショックには脆弱 ◎景気回復の兆しは見られるが、回復のペースは苛立たしいほど遅い ◎先行き見通しは引き続き不透明で、経済情勢は引き続き注視が必要 ◎議会は現在の景気回復を不必要に妨げないように注意が必要と、長期的な財政赤字の削減を要請

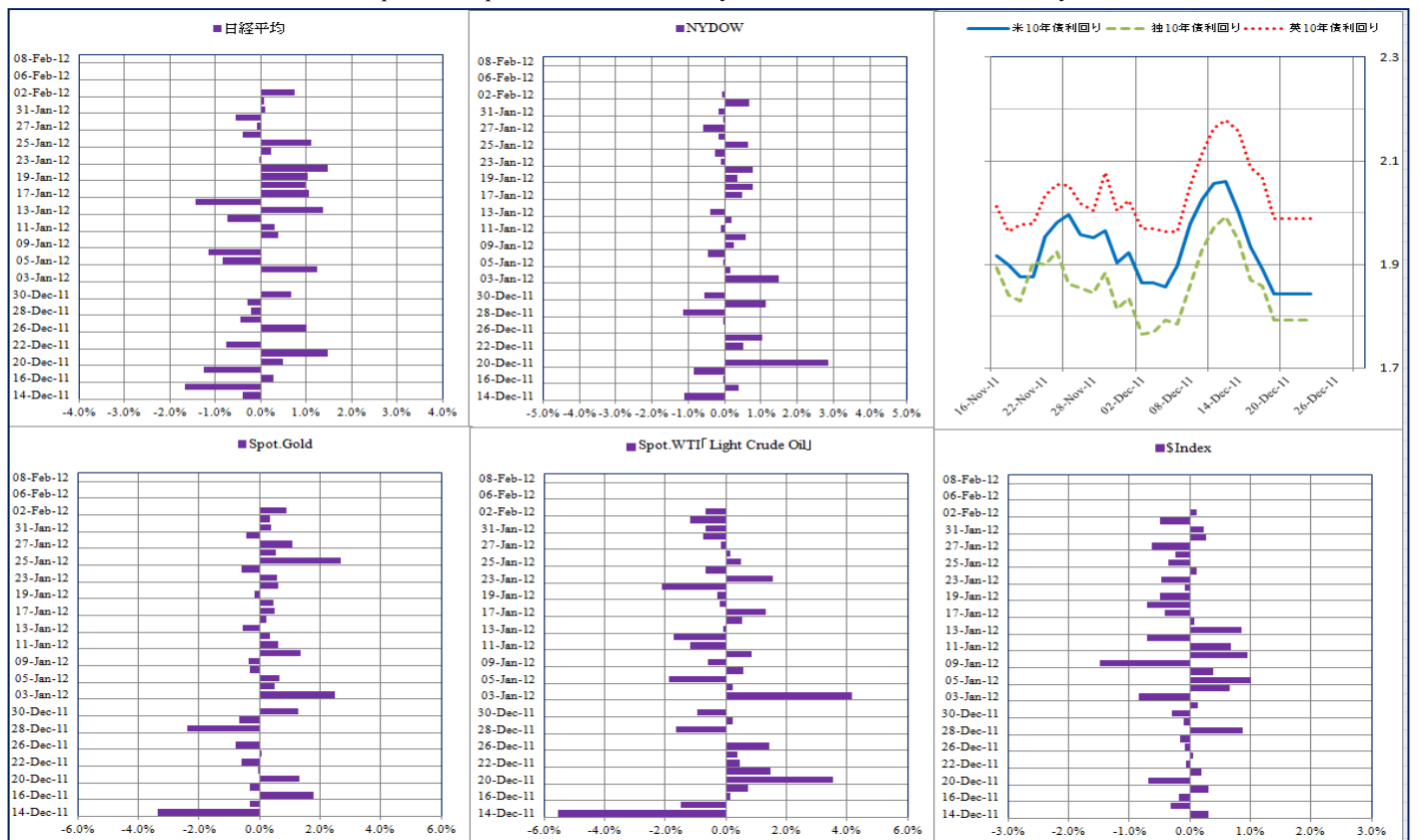
◎財政の部屋にはヘルスケアという象がいるようだ ◎住宅市場が米国経済が低迷している大きな要因 ◎米国の失業は非常に深刻な問題 ◎米財政政策に対して、投資家の信認を失うリスク ◎インフレ率を目標に戻すことを常に目指す ◎インフレ率は非常にうまく抑制されている ◎雇用のために高いインフレを要因でない

USD	エバンズ・シカゴ連銀総裁=◎資産購入はかなりの規模が必要 ◎FRB は先行きを明示した金融緩和の強化を
USD	米下院予算委員長=◎米金融緩和策は行き過ぎでかつ長過ぎる
GBP	ボーゼン英中銀政策委員=◎資産購入プログラムの規模を、前回と同じくさらに 750 億ポンド拡大する方向で議論がある
CHF	ジョルダン・スイス中銀臨時総裁=◎EURCHF1.20 の下限、スイスフランの上限設定は信頼感が出ていると思われる ◎無制限で介入する用意がある

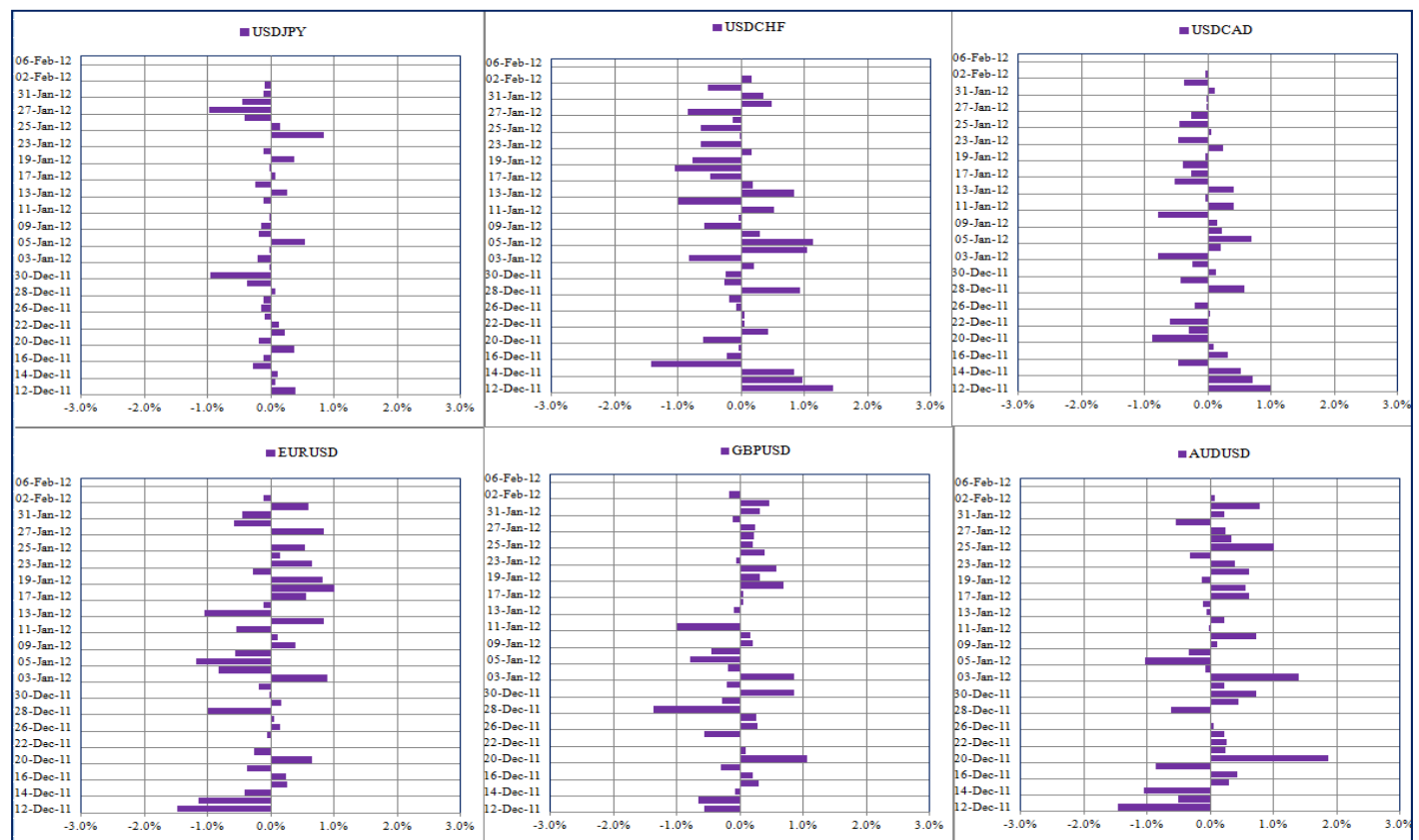
## 昨日(2月2日)の経済指標と結果

9:30	AUD 12月 住宅建設許可件数=前月比-1.0%(予想 2.0% 前回 10.1←8.4%)、前年比-24.5%(予想-22.1% 前回-17.5%-18.9%)
9:30	AUD 12月 貿易収支=17.09 億豪ドル(予想 12 億豪ドル 前回 13.43←13.8 億豪ドル)
16:00	CHF 12月 貿易収支=20.7 億スイス(予想 25 億スイス 前回 29.5←30 億スイス)
18:30	GBP 1月 建設業 PMI=51.4(予想 52.5 前回 53.2)
19:00	EUR 12月 生産者物価指数=前月比-0.2%(予想-0.1% 前回 0.2%)、前年比 4.3%(予想 4.4% 前回 5.4←5.3%)
21:30	USD チャレンジャー人員削減数=前年比 38.9%(予想 前回 30.6%)
22:30	USD 第4四半期 単位労働コスト・速報=前期比 1.2%(予想 0.8% 前回-2.1←-2.5%)、非農業部門労働生産性=前期比 0.7%(予想 0.8% 前回 1.9←2.3%)
22:30	USD 週間新規失業保険申請件数=36.7 万件(予想 37.1 万件 前回 37.9←37.7 万件)

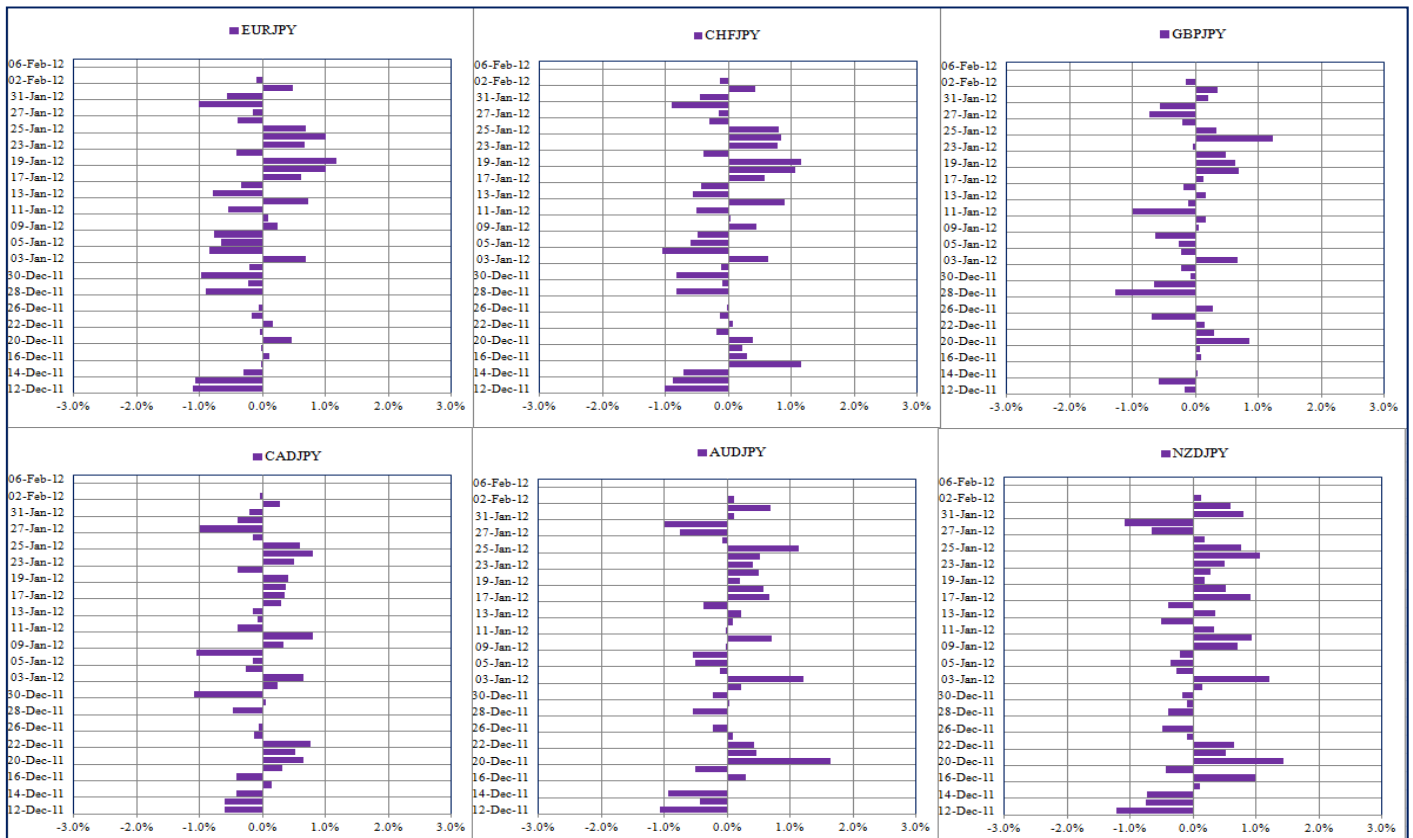
日経平均株価・NYダウ平均株価・SpotGold・SpotWTI・\$Index の(Daily 変動率)、10年債利回りの Daily 推移と比較



主要通貨の Daily 変動率 (%)



## 円クロスの Daily 変動率(変動率)



USD=米国、JPY=日本、GER=独、GBP=英国、CAD=カナダ、AUD=豪州、NZD=ニュージーランド、  
CHF=スイス、NOK=ノルウェー、SEK=スウェーデン、CHN=中国、FFR=フランス

本レポートで言及している市場予想の出所=fx360.com,ロイター社。各国経済指標・日時の出所=fx360.com ロイター社

外国為替保証金取引 (FX) 及び CFD には、高いレベルのリスクが潜在しており、全てのお客様に適した投資商品とは言えません。高いレベルのレバレッジは、利益ももたらしますが、損失ももたらします。預託した資金を超えて損失を被る可能性もあるため、損失に耐えられない金額を投資するべきではありません。過去のパフォーマンスが、必ずしも将来の結果を示唆しているわけではありません。

本レポートの内容は

- 情報提供の目的にのみ供されるものとし、いかなる投資商品の提供・勧誘その他法的に拘束され得る行為、また、それら投資商品の推奨、助言等を意図したものではありません。
- マーケットに関する意見・予想はその正確性や完全性についてそれらを保証するものではありません。
- レポート著者の予想・意見は必ずしも、弊社及び弊社関係者の見方を反映したものではありません。
- 筆者によって提供される市場に関する如何なる予測や見解についても、その正確性が検証されている訳ではありません。
- 当社は本レポートの内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。

GFT はお客様への一般的な情報として本資料を提供していますので、投資判断を行う際の詳細な独自調査に代えて本資料に依拠することはお控えください。

GFT は、本資料に含まれる情報に基づいた投資の結果として発生した損害に対して、如何なる責任も負いません。また、投資、法律、会計、税務、またはその他の専門的助言についても、一切提供することはありません。これらの専門的助言が必要な場合は、専門家にご相談ください。

同支店は、日本においては、グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッドとして第一種金融商品取引業者登録(関東財務局長(金商)第268号)および商品先物取引業者許可を取得しており、社団法人金融先物取引業協会および日本商品先物取引協会の加盟業者です。[www.gftforex.co.jp](http://www.gftforex.co.jp)

© 2011 グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッド 著作権/著作権所有。無断複写・複製・転載を禁ず。

CD08J.005.113011